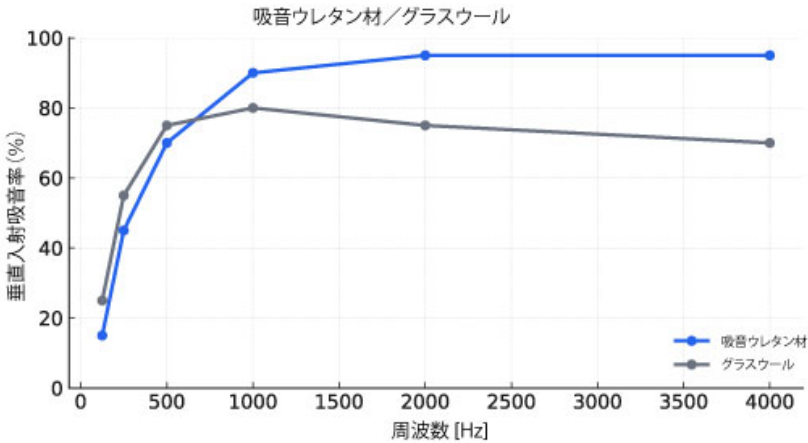


吸音材とグラスウールの違い | メリット・デメリット比較資料

吸音材とグラスウールはどちらも音の反射や残響を抑える防音素材として利用されています。ただし、構造や加工性、安全性、耐久性などに大きな違いがあります。ここではそれぞれの特徴と、吸音材が優位な点を比較します。

項目	吸音材（ウレタンフォーム・スポンジ系）	グラスウール（ガラス繊維系）
構造	多孔質ウレタンフォーム構造。気泡内部で音を熱に変換	ガラス繊維を圧縮成形した繊維状素材
吸音性能	中～高周波域に優れる。形状設計により性能調整可	広帯域で平均的な吸音性能
加工性	カット・接着・貼付けが容易。自由形状に対応	切断時に繊維が飛散しやすく扱いに注意
安全性	皮膚刺激がなく、粉塵の心配が少ない	微細繊維による肌・呼吸器刺激の可能性
耐久性	密度次第で長期使用も可能。湿気に強いタイプも有	湿気に弱く、経年で沈下・崩れの恐れ
外観	表面が滑らかで施工後も美観を損ねにくい	施工箇所が限定される（内装材に隠す用途が多い）
コスト	やや高価だが性能安定・施工性良	比較的安価だがメンテナンス性に難あり

-  **吸音材が選ばれる理由**
- ・加工しやすく現場での調整・貼付が容易
 - ・粉塵が出ず安全でDIYやスタジオ施工にも最適
 - ・厚みや形状を自由設計できデザイン性・機能性を両立
 - ・長期安定性が高く湿気や温度変化にも強い



出典：一般的な素材特性を参考にしたモデル値（参考目的のグラフ）